

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

## 中国市場の炭素材料関連製品の動向

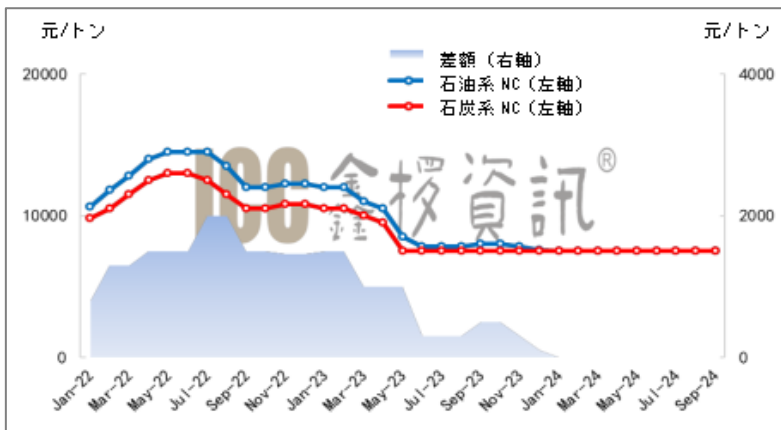
(2024年9月)

### 1. ニードルコークス

2024年9月、負極材料向けのニードルコークス（以下、「NC」）の需要は低迷が続いたため、NC企業の稼働率は低い状態が続き、煅焼後NCの供給量は減少した。NCの市場価格は全体的に安定していた。9月29日現在のNC価格は下記の通りである。

#### ● 中国国産NC価格（1元=21.09円で換算）

- 石炭系NCは7,500~8,500元/トン（15.82~17.93万円/トン）
- 石油系NCは5,800~8,200元/トン（12.23~17.29万円/トン）
- 石炭系、石油系生コークスは5,050~5,600元/トン（10.65~11.81万円/トン）



出典：ICC 資訊

図1. 石油系NCと石炭系NCの価格推移（2022年1月~2024年9月）

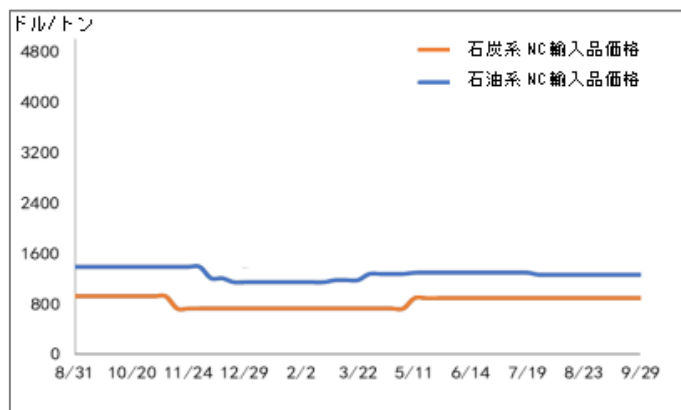
#### ● 輸入NC価格（1ドル=149.20円で換算）

- 石炭系：  
日本からの輸入NCは950ドル/トン（14.17万円/トン）  
韓国からの輸入NCは850ドル/トン（12.68万円/トン）
- 石油系：  
英国からは1,050~1,250ドル/トン（15.67~18.65万円/トン）  
日本からは1,100~1,300ドル/トン（16.41~19.40万円/トン）
- 負極用コークスは650~800ドル/トン（9.70~11.94万円/トン）

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20～3,301

TEL: 045～717～8575 FAX: 045～717～8683



出典：ICC 資訊

図 2. NC 輸入品の価格推移（2023 年 8 月～2024 年 9 月）

原料側を見ると、需要の変動を受け、石炭ピッチの価格は安定した後、月末に低下しはじめた。需要が弱まる一方、企業は高い稼働率を維持したため、10月の価格はさらに下がる可能性がある。月末現在、改質ピッチの価格は 4,200～4,400 円/トン（8.86～9.28 万円/トン）、中温ピッチは 4,300～4,350 円/トン（9.07～9.17 万円/トン）であった。低硫黄分オイルスラリーの価格が低下し、月末現在の取引価格は 3,600～3,700 円/トン（7.59～7.80 万円/トン）だった。

## 2. 石油コークス

過剰供給の下で、低硫黄分石油コークスと負極材料用の中硫黄分石油コークス企業はいずれも稼働率が低下し、9月の市場供給量は減少した。そのため、石油コークスの需給バランスがほぼとれている。

9月末現在、大慶石化 1#A の価格は 2,220/トン（4.68 万円/トン）、撫順石化 1#は 2,470 元/トン（5.21 万円/トン）、大港石化 1#A は 2,170 元/トン（4.58 万円/トン）、錦西石化 1#B は 2,230 元/トン（4.70 万円/トン）、錦州石化 2#A は 2,270 元/トン（4.79 万円/トン）、安慶石化の負極用 3#A は 2,970 元/トン（6.26 万円/トン）であった。低硫黄分煅焼コークスの価格は、錦西石化の石油コークスを原料としたものは 3,000～3,150 元/トン（6.33～6.64 万円/トン）、撫順石化の石油コークスを原料としたのは 3,400～3,850 元/トン（7.17～8.12 万円/トン）であった。

## 3. 黒鉛電極

原料の価格低下によって、高コストのため一時操業停止を余儀なくされた黒鉛電極企業の一部は、9月に生産を再開した。需要面では、9～10月は従来から鉄鋼産業の繁忙期であり、鉄スラップ価格の低下と製鉄所の損失の縮小も高炉企業や電炉企業の運転再開につながった。9月26日現在、全国135社の電炉を有する製鉄所の稼働率は47.27%で、前月比は3.53%上昇し、電炉鋼の生産量

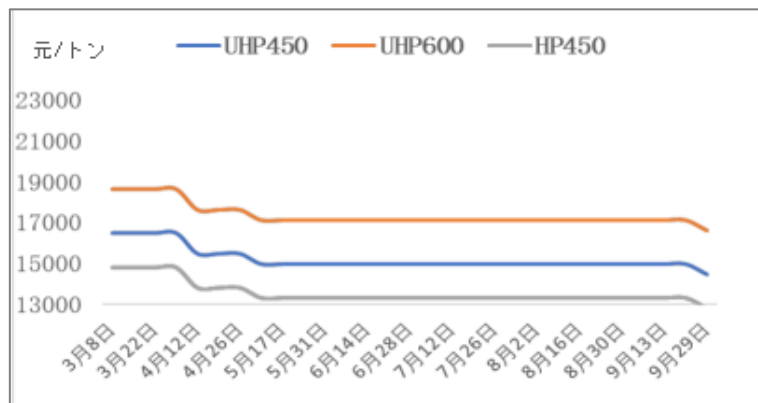
# CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20〜3,301

TEL: 045〜717〜8575 FAX: 045〜717〜8683

は1日当たり 29.58 万トンで、5 週連続で増加した。黒鉛電極の消費量は1日当たり 1,044 トンで、前の週より 5.73%成長した。

月末現在、UHP400mm 規格黒鉛電極の価格は 14,500〜15,500 元/トン（30.58〜32.69 万円/トン）、UHP450mm 規格（NC 含有量が 30%）は 14,000〜14,500 元/トン（29.53〜30.58 万円/トン）、UHP600mm 規格は 16,500〜17,500 元/トン（34.80〜36.91 万円/トン）、UHP700mm 規格は 20,000〜21,000 元/トン（42.18〜44.29 万円/トン）だった。

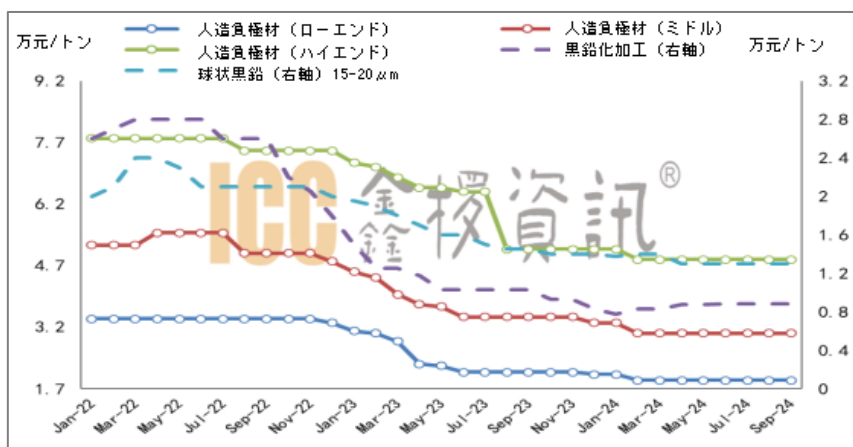


出典：ICC 資訊

図 3. 製品別黒鉛電極の価格推移（2024 年 3 月〜9 月）

## 4. 負極材

9 月、負極材料市場の需要は回復を見せたため、企業の稼働率が先月より向上し、負極材料の価格は安定していた。リチウムイオン電池分野の需要は前月より 5%〜10%伸びており、10 月は 3%〜4%の成長が見込まれている。



出典：ICC 資訊

図 4. 負極材と黒鉛化加工の価格推移（2022 年 1 月〜2024 年 9 月）

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

炭素材料関連製品価格表 (2024年9月29日)

製品	指標	税込価格 (1トン当たり)	
		人民元 (万元) ・米ドル	日本円 (万円)
石油コークス	1#A	0.22~0.25	4.64~5.27
	1#B	0.22~0.23	4.64~4.85
煅焼コークス	低硫黄分	0.31	6.54
石炭ピッチ	改質ピッチ	0.42~0.44	8.86~9.28
	中温ピッチ	0.43~0.44	9.07~9.28
被覆ピッチ	軟化点 200	0.60~0.70	12.65~14.76
	軟化点 280	1.30~1.50	27.42~31.64
中国 NC	石炭系生コークス	0.58	12.23
	石炭系煅焼コークス	0.75	15.82
	石油系生コークス	0.52	10.97
	石油系煅焼コークス	0.75	15.82
海外 NC	石炭系 (日本)	950	13.55
	石炭系 (韓国)	850	12.12
	石油系 (日本)	1,100~1,300	15.69~18.54
	石油系 (英国)	1,100~1,300	15.69~18.54
黒鉛電極	UHP450mm	1.45~1.50	30.58~31.64
	UHP450mm (NC 含有量 30%)	1.40~1.45	29.53~30.58
	UHP550mm	1.55~1.65	32.69~34.80
	UHP600mm	1.65~1.75	34.80~36.91
	UHP650mm	1.80~1.90	37.96~40.07
	UHP700mm	2.00~2.10	42.18~44.29
黒鉛化加工	箱型炉	0.82~0.95	17.20~20.04
	アチソン炉	0.97~1.15	20.46~24.25
天然負極材	ローエンド	1.60~2.90	33.74~61.16
	ミドルレンジ	3.30~4.10	69.60~86.47
	ハイエンド	5.00~6.50	105.45~137.09
人造負極材	ローエンド	1.60~2.20	33.74~46.40

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

	ミドルレンジ	2.30~3.80	48.51~81.14
	ハイエンド	4.90~7.80	103.34~164.50
球状黒鉛	大球 (15~20 $\mu$ m)	1.20~1.40	25.31~29.53
	小球 (6 $\mu$ m)	1.75~1.95	36.91~41.13
天然黒鉛	黒竜江	0.27~0.30	5.69~6.33
	山東省	0.29~0.32	6.12~6.75

注1：中国国内価格は税込み出荷価格で、単位：万元/トン、1元=21.09円で換算。

注2：海外NC価格はCIF価格で、単位：ドル/トン、1ドル=149.20円で換算。

情報源：ICC 資訊より